

## 韓国

### 続く景気後退

韓国経済は2001年に入っても、昨年後半から続く深刻な景気後退局面にある。

3月に速報値が公表された2000年の経済成長率は8.8%で、99年の10.8%から2%ポイントの低下となっている。しかし第4四半期の成長率(季節調整値)は、前期比▲0.4%となっており、はっきりと景気後退を示している。これを内訳で見ると消費は前期比伸び率0.4%と低迷している。投資はすでに第2四半期から前期比でマイナスに転じていたが、第4四半期には▲4.9%と大きく減少した。さらにこの内で設備投資は▲9.3%大きく落ち込んでおり、典型的な景気後退局面の様相を示している。

低下を続けた製造業生産指数は、2001年1月に前年同月比伸び率で▲0.4%を記録した後、2月は8.6%、3月は6.2%とプラスになったが、2000年の16.6%からはかなり低い水準にとどまっている。これははっきりと生産活動の停滞を示している。

輸出は今年に入り、米国経済の減速の影響もあり低迷している。しかし輸入も低調であるため、貿易収支は小幅の黒字を維持している。

失業率は、季節調整値で1月の4.1%から、2～3月には4.2%に悪化している。また企業収益の低迷を受け、株価指数も昨年秋以降、500ポイント台に低迷している。

### 今後の展望

政府系シンクタンク、韓国開発研究院(KDI)が4月に発表した今年の予測成長率は4.3%となっており、昨年の半分程度にとどまるとしている。同予測によれば設備投資

の低迷は第3四半期まで続き、回復は年末まで見込めない。また日米の景気低迷を受けて、外需の伸びも昨年に比べて大きく落ち込むとしている。

さらに同予測は、国際的な金融不安が生じた場合、国内の金融部門は大きな影響を受け、経済がさらに低迷する可能性を示している。また、本格的な景気回復には、構造改革の推進により、現代グループ、大宇自動車などの問題に代表される、金融面での不安要因の解消を図ることが不可欠であると指摘している。

しかし韓国経済の現況は、こうした構造改革が十分なスピードで進められているとは言い難い。鄭夢憲氏の率いる現代グループ本体の処理は、北朝鮮関連事業の扱いを含めて難航している。また、大宇自動車も労働争議を招いた大幅なリストラに踏み切ったが、なお米GMへの売却交渉が難航しており、現時点で前途は不明確である。

金融部門全体を見ても、不良債権処理のためにこれまで投じられた公的資金は、3月末で延べ134.7兆ウォンに達している。これは2000年のGDPの約4分の1に相当する額である。しかしこうした巨額の資金投入にも関わらず、不良債権問題は改善を見ていない。財政当局によれば、さらに今年中に26兆ウォン程度の資金投入が予想されている。

結局のところ、97年の通貨危機で必要性が指摘された韓国経済の構造改革は、大部分が先送りされたままになっていると言える。その推進には、一時的な雇用の悪化も含めた大きなコストが伴う。残りの任期が2年を割った金大中政権に、痛みを伴う改革の断行ができるか否かに、韓国経済の中長期的な行方はかかっている。

(ERINA調査研究部研究主任 中島朋義)

	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	00年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2000年1月	2月	3月
国内総生産(%)	6.8	5.0	▲6.7	10.8	8.8	1.6	1.6	2.4	▲0.4	-	-	-
最終消費支出(%)	7.2	3.2	▲9.8	9.4	6.2	1.3	1.1	0.3	0.4	-	-	-
固定資本形成(%)	7.3	▲2.2	▲21.2	3.7	11.0	6.8	▲1.2	▲0.9	▲4.9	-	-	-
製造業生産指数(%)	8.3	4.5	6.5	24.2	16.6	23.4	18.3	19.6	7.4	▲0.4	8.6	6.2
失業率(%)	2.0	2.6	6.8	6.3	4.1	4.4	3.9	3.9	4.0	4.1	4.2	4.2
貿易収支(百万USD <sup>ドル</sup> )	▲14,965	▲3,179	41,627	28,371	16,601	2,456	4,748	5,464	4,203	450	1,102	-
輸出(百万USD <sup>ドル</sup> )	129,715	136,164	132,313	143,686	172,268	39,318	43,412	44,376	45,214	12,737	13,417	14,345
輸入(百万USD <sup>ドル</sup> )	150,339	144,616	93,282	119,752	160,481	38,830	39,805	40,405	41,440	12,439	12,668	12,964
為替レート(ウォン/USD <sup>ドル</sup> )	805	951	1,399	1,190	1,131	1,126	1,116	1,115	1,164	1,273	1,252	1,228
生産者物価指数(%)	3.2	3.9	12.2	▲2.1	▲2.0	2.1	1.9	2.6	1.6	2.3	2.4	2.8
消費者物価指数(%)	4.9	4.5	7.5	0.8	2.3	1.5	1.4	3.2	2.9	4.2	4.2	4.4
株価指数(1980.1.4=100)	833	655	406	807	734	911	765	712	540	585	594	544

(注) 失業率は水準、製造業生産指数、生産者物価指数、消費者物価指数は対前年同期比伸び率、その他のパーセンテージ表示系列は前期比伸び率  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、失業率は季節調整値  
貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

(出所) 韓国銀行、韓国統計庁他